普及活動情勢報告（令和８年８月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

農薬を正しく取り扱い、散布できていますか？　～農業基礎講座～

散布方法を指導する
普及指導員

７月 13 日、あぐりっこ研修センターで、農業基礎講座を開催し、研修生２名、生産者４名が参加しました。

農業改良普及課からは、農薬の取り扱いやローテーション散布の目的等について講義を行いました。その後、実際に参加者に散布体験をしてもらい、農薬散布の方法や注意点について指導しました。

参加者からは、「農薬散布体験は非常に参考になった」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も農業基礎講座を開催し、研修生や生産者の知識・技術の習得に向けて支援していきます。

新品種の出来は？　～中村地域営農協議会現地検討会～

水稲の生育状況を説明する
普及指導員

７月 21 日、四万十市利岡、入田の現地ほ場で、中村地域営農協議会現地検討会を開催し、管内の集落営農法人役員 11 名、関係機関３名が参加しました。

農業改良普及課からは、法人が今年新規に栽培する‘にじのきらめき’‘ゆうだい 21’の各品種の特性や生育調査結果について情報提供しました。

参加者からは、「‘にじのきらめき’を栽培してみたいが、収量はどのくらいか」「‘ゆうだい 21’の食味はどうか」等の質問がありました。

農業改良普及課は、今後も収量調査結果などを共有し、中村地域営農協議会の新品種導入に向けて支援していきます。

令和８園芸年度の栽培を振り返る　～ミディトマト栽培講習会～

生育調査等を説明する
普及指導員

７月 23 日、ＪＡ高知県中村集出荷場で、ミディトマト栽培講習会を開催し、生産者３名、関係機関３名が参加しました。

農業改良普及課からは、令和８園芸年度の栽培の振り返りと次作に向けての取り組み、熱中症対策などについて情報提供しました。

生産者からは、「病害対策を行っている時の炭酸ガス施用方法は？」「葉かび病の防除対策を試してみたい」等の質問や意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、次作の収量向上に向けて支援していきます。

猛暑を乗り切る！今年の暑さ対策を考えよう
～ＪＡ高知県宿毛支所文旦研究部会総会～

日焼け果対策について
説明する普及指導員

７月 28 日、ＪＡ高知県宿毛支所で、ＪＡ高知県宿毛支所文旦研究部会総会が開催され、生産者 17 名、関係機関 15 名が出席しました。

農業改良普及課からは、熱中症対策や今年の気象状況、土佐文旦の日焼け果対策について情報提供しました。

生産者からは、「７月中旬以降、雨が全く降っていないので日焼け果が発生している」「クラフトテープや炭酸カルシウム剤を使用してみたい」等の意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、高品質の土佐文旦生産に向けて支援していきます。

育苗状況を確認！　～ＪＡ高知県中村支所いちご部会現地検討会～

現地で意見を交わす
生産者たち

７月 28 日、四万十市内のイチゴ生産者ほ場で、ＪＡ高知県中村支所いちご部会の現地検討会が開催され、生産者７名、肥料会社１名、関係機関７名が参加しました。

農業改良普及課からは、かん水管理や炭そ病対策などの育苗期における管理について情報提供しました。

生産者からは、「近年の高温で育苗が難しくなってきた」「寒冷しゃは必須になる」「炭そ病を引き起こす病原菌は１種類だけか？」等の意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、良質なイチゴ苗の確保及び定植後の栽培管理技術の向上に向けて支援していきます。

かん水技術の更なる向上に向けて　～幡多地区環境制御技術研修会～

土壌水分の管理方法について
説明を聞く参加者たち

７月 28 日、高知県中村合同庁舎で、幡多地区環境制御技術研修会を開催し、生産者 12 名、営農指導員８名が参加しました。

農業改良普及課は、事務局として講師の選定や交渉、会員への連絡ならびに当日の会の運営を行いました。また、高知県農業イノベーション推進課からは、定植から活着期までのかん水の方法や重要性について情報提供がありました。

生産者からは、「水分分布と根張りの関係について学ぶことができた」「環境を変えるのではなく植物の力を引き出すための管理などで対策を行うという話は目からウロコだった」等の声がありました。

農業改良普及課は、今後も研修会等の開催により施設園芸の振興を支援していきます。

シシトウ収量アップに向けて　　～西土佐シシトウ生育調査～

生育調査を行う技師

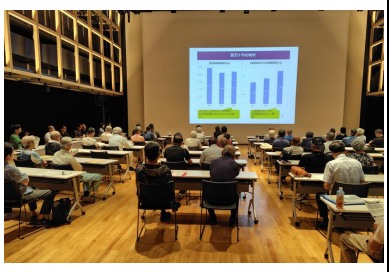
７月 29 日、四万十市西土佐のシシトウ生産者３名を対象に、生育調査と現地指導を行いました。

ほ場では、生育調査の結果や温度データを基に、生産者に、かん水管理や病害虫防除について助言指導を行いました。

生産者からは、「葉がちぢれている株があるが原因は何か？」「日焼け果が増えてきているがどうすればいいか？」等の質問がありました。

農業改良普及課は、今後も生育調査を行うとともに、高温対策をはじめとした栽培管理指導を行い、収量アップに向けて支援していきます。

集落営農に取り組みませんか？　　～四万十市事業説明会～



集落営農の取組について
説明する普及指導員

７月 30 日、四万十市総合文化センターで、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金に係る事業説明会が開催され、集落代表者 70 名、関係者 10 名が参加しました。

農業改良普及課からは、四万十市の地域の現状と集落営農の取組について情報提供しました。

参加者からは、「今後、集落で協議をし、集落営農に取り組んでいきたい」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後も地域の農地の保全に向け、集落営農活動の啓発や支援を行っていきます。